

建設経済常任委員会記録

日時 令和8年8月25日（火）

場所 議会会議室

午後 3 時 3 0 分 開 会

○佐藤喜紀委員長 ただいまから建設経済常任委員会を開会いたします。

本日は全員出席であります直ちに本日の会議を開きます。

1 政策提言について

○佐藤喜紀委員長 委員の皆様、ワークショップの進行および活発な議論、誠にありがとうございました。本日の委員会は先ほどの意見交換会でゲストの皆様からいただいた現場の課題やアイデアを整理し、政策提言テーマの深掘り並びにこれから予定している行政視察先の決定に繋がたいと思います。所要時間は30分程度を予定しておりますのでご協力よろしくお願い申し上げます。

それでは（1）意見交換会の振り返りと意見の整理。まず、先ほど各班で書き出したホワイトボードの記録を見ながら、本日出てきた主要な課題とアイデアの整理を行いたいと思います。私の方からA班、B班の共通点や目立った意見を大きく分類してみました。まず共通の課題となりますけれども、やはり女性の農業従事者の参加もあったということで、トイレの問題、現場への簡易トイレ設置、公共施設の利用などが一つ挙げられると思います。

それから若い人からの御意見をいただいたというようなことで、やはり子育て世代の方もいらっしゃるということから、特に農繁期の休日の取得も共通の課題として挙げられるものと思います。

それから、市や議会に望む支援策、補助金等ということでもありますけれども、実際に酒田市が単独で行っている補助事業がほぼないような形になっているわけですので、現状の農家ニーズに今の市の補助事業等が合っていないのではないかなというような点が大きく挙げられるのではないかと感じたところであります。委員の皆様がご覧になって、ここが一番の課題の核心だったのではないかな、あるいはここをもっと掘り下げるべきではないかなというような点について、委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。できれば一人ひとりからご意見をいただきたいと思います。よろしいでしょうか。

（異議なし）

○佐藤喜紀委員長 それでは各委員からご意見をいただくということにさせていただきます。

途中退席予定の池田委員お願いできますか。

○池田博夫委員 親元就農の場合は、新規就農と違って何か厳しさがあるっていう話で、実際に経営移譲しながらやっている方もいます。新規就農者の場合は支援があるけど、親元就農者の場合は厳しいものがあるっていうことで袖浦農協の営農指導員から出たのですが、そこにちゃんとした答えが出せなかったものですから、確か新規就農の支援120万円の話が出たもんですから、詳しく調べて答弁したいなと思ったんです。政策提言にもやっぱり新規就農のところが必要ではないか、その辺をこの委員会で検討していくべきではないかなと思います。

○佐藤喜紀委員長 それでは安藤委員お願いします。

○安藤浩夫委員 B班でしたけれども、全体的にやはりトイレ問題っていうか、女性にとっては非常に大変だと思います。八幡の学童の隣に24時間トイレを整備しているんですけども、24時間ってなってくるとコンビニしかなくなりますけれども、そういう24時間トイレっていうのも必要なかなと思います。

それと、池田委員からも出ましたけれども、新規就農者へは確かにそういう補助はありますけれども、Uターンして帰ってきて親の農家を継ぐと、それに対しての補助がないというお話でしたので、そういうことも必要だなと思います。

それと、やはり旦那さんが怪我をしたり、亡くなったりした場合、もう農家を辞めなくてははいけない。そういう事態に追い込まれる。それをカバーする制度が必要なのではないかな。

あとは袖裏農協の営農指導員さんから畑地住宅の松枯れ伐倒が迫っているというのでぜひ支援していただきたいというお話をいただいて、そこら辺を検討する必要があるのではないかなと思います。

○佐藤喜紀委員長 ありがとうございます。それでは守屋委員お願いします。

○守屋紀彦委員 私はB班でした。重複する部分もございますが、親元就農に補助がないという点と、あとトイレの点、そして人手不足、増員に関して、人を雇って前向きになれるような雰囲気はやっぱりないので、そういった雰囲気作りの醸成または制度作りが必要なのではないのでしょうかというお話もありました。そして人の面においても、急な欠員が出た場合、例えばお父さんが何らかの理由でぎっくり腰になってしまったとか、急に働けなくなってしまったときに、今までやっていた仕事を誰かにやってもらえるような仕組みや制度があればというようなお話が出ました。お金で頼めるような仕組みなのかはわかりませんが、労働力が急になくなったというときに頼めるような制度づくり、畜産の方にはヘルパー制度があるというようなお話でしたけれども、そういったヘルパー制度があればというようなお話がありました。

○佐藤喜紀委員長 ありがとうございます。それでは武田委員お願いします。

○武田恵子副委員長 私はB班のまとめ役でしたので、この3人が発言なさったことに何も加えるものはありません。

○佐藤喜紀委員長 それでは、市原委員お願いします。

○市原栄子委員 私はA班で、元気のいい女性と頑張って農業経営をされている方ということで、農業が身近でない者としてはかなり興味の多いものがありました。私達の世代だとしても農業はきつくて泥まみれになって大変な仕事って思うのですが、B班の板書に若い女性にとっては服が自由であるみたいなことも書いてあります。A班の方でも汗をかくのが気持ちいい、ネイルもきちんとされている今どきの若い子で、農業をやってタンクトップの日焼けの跡を見るのが楽しいそうです。芸能人が農業女子をSNSで発信しているのをうさん臭く感じていたんですけども、今の若い人たちはそういう感じで農業について少し明るく見ているのかなって感じたんです。若い人たちを呼び込む中で、若い女性の仲間内でも、こういう楽しみがあるよっていう発信っていうものもありなのかなっていうことを感じました。

あとはやっぱりトイレの問題です。何よりもこのトイレの問題は入りづらいってところなんです。にっこりカフェは公民館だから中のトイレに入れるよって話をしたんです。ファミリーマートまで行くそうだから。そしたらカフェだから、何か頼んで飲まなきゃいけないん

じゃないかと思って遠慮していたって。そして今、安藤委員から学童のところにも24時間トイレがあるよってという話を聞いて、確かに私も話を聞いたことがあります。ただ、やっぱり入りづらい。女性が気楽に入れない。につきりカフェも駄菓子なんか売っているから駄菓子でも買えばってという話はしたんですが、ただ、あそこもお休みの日があったりとかして、いつもってわけじゃないので、もうちょっと使えるトイレがありますっていうことを知らせていくことも必要なのかなと感じました。

あとは、議会の方でも楽しく農業を続けられる方法や支援をこれから考えていかなくてはならないと感じました。

○佐藤喜紀委員長 齋藤委員、お願いします。

○齋藤直委員 私はA班の方でいろいろな意見を聞かせてもらいました。今回改めてこういう生の声を聞くっていうのが本当に有意義な時間だったなと思っておりました。アグレストの土井さん、そして農園貞太郎の遠藤代表から現状をいろいろ聞いたところでもありますけども、とにかく農業がもう楽しくて楽しくてしょうがない。なんかそんなイメージを思いました。先ほど言いましたけども本当に汗をかいて草刈りをするのが好きだという話を聞いて、全くそんなことを考えていなかったんですけども、やはりこの生の声は違うんだなと思いました。ある意味、家族経営でやっている皆さんのお話でしたので、社員の話はどうだったのかなと少し感じたところです。収入の面、また休みの面では、繁忙期は40連勤しているんだっていう話があって、なかなか休みは取れません、家族はしょうがないんだっていう話がありました。収入の方はどうなのかなと思ったら、酒田市の一般企業から比べると若干弱いかなとかそんな話も言っていたところです。

持続可能な農業という意味では、経営者は致し方ないのかもしれませんがけれども、就農者にとっては、やはり休日または時間、または収入も、これは行政で云々という話ではないかもしれませんがけれども、そういうところも必要なのかなと感じたところです。

農園貞太郎は従業員が30名で、うち15名が女性だというお話を聞きました。その中でも外国人就労者の方が6名いまして、住居の確保に何らかの支援があればいいなというお話も聞いたところです。

それからトイレの問題が皆さんから出ていましたけれども、女性のトイレの問題はやはり一番大きいと思いました。コミセンが農業従事者も気軽に入れるような仕組みづくりというの必要なのかなと感じたところです。

○佐藤喜紀委員長 田中委員、お願いします。

○田中齊委員 出尽くした感はありますが、労働環境から離れて生産問題として、圃場が点在して移動時間がもったいない、効率も悪い。資材が上がりそうだが儲けている会社の方であっても、これからどんどん高齢化で空く可能性もあるわけだし、それを見据えて圃場をまとめていく。まとめる上ではやっぱり水利とかそういった条件をきちんと良くする、それとセットでするようなものがあれば、解決できるんじゃないかなということは考えました。良いところ悪いところとか今までの土地にこだわらず、利用権としてちゃんと整理をしていく、そういうことを急ぐべきでないかなということを感じました。

○佐藤喜紀委員長 貴重な意見をありがとうございます。本日いただいた現場の課題、こういったものを解決するためには、やはり先進地の事例を学ぶことも大切だと感じているところでもあります。今後予定しております委員会としての行政視察もあるわけですが、本日

出てきました一番はやはりトイレ。それから農地の点在解消ということで集約。これを進めているようなところ、それから共通の課題として新規親元就農への支援、こういった取り組みをしている自治体へ調査事項として進めたいと思います。

暫時休憩します。

午後 3 時 5 2 分 休 憩

午後 3 時 5 7 分 再 開

○佐藤喜紀委員長 再開いたします。

次に進みます。（２）その他、委員の皆さんから何かございますか。

（なし）

○佐藤喜紀委員長 事務局から何かございますか。

（なし）

○佐藤喜紀委員長 ないようですので、これをもちまして建設経済常任委員会を閉会いたします。本日は大変ご苦勞様でした。

午後 3 時 5 8 分 閉 会